

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。

本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。

取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。

この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。



警告

- 本製品使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。
- 本取扱説明書に記載されていない、本体の分解、修理、改造はしないでください。
- 本製品は、自動車整備士資格を有する方を対象に作られております。
- 本製品は、防滴、防水仕様ではありません、水中や水の掛かる恐れのある場所、多湿となる恐れのある場所、雨が降っている中で使用しないでください。
- ショートの恐れがある、金属製の物を、クランプやバッテリー に近づけないでください。
- 感電の危険があるので、濡れた手で作業しないでください。
- プラス・マイナスのクランプを、接触させショートさせないでください。過電流によりクランプやケーブルの溶断、火災の原因となり、大変危険です。
- 車両バッテリーに接続する際、プラス・マイナスを間違えないよう注意してください。
また、火花が飛ぶ危険性がありますので、顔などを近づけないでください。
- 不測の事態を避けるために使用中は、絶対に本製品や車から離れないでください。
- バッテリークランプに、他のケーブルなどを接続しないでください。
- クランプの接続手順を間違わないでください。接続は、プラスクランプから接続してください。
取り外す際は、マイナスクランプより取り外してください。
- マイナスクランプは、必ずボディアースさせてください。車両のバッテリーのマイナス端子には接続しないでください。
- DC12V 出力ソケットにインバーターを接続し、医療機器・精密機器などを、絶対に使用しないでください。
- DC 充電アダプター以外で、DC12V 出力同士を直結しないでください。
- DC12V 出力ソケットは、シガーソケットプラグ以外の物を、差し込まないでください。
- 誤ってバッテリー液が目や口に入った場合は、流水で 10 分以上洗浄し、速やかに医師の診断を受けてください。
- ファンベルト、プーリーなどに、ケーブルが巻き込まれないよう、取り回しには十分注意してください。
- 閉鎖された車庫などで使用・充電しないでください。有毒ガスが充満し大変危険です。必ず、換気のよい場所で使用・充電してください。
- 本体を持ち運ぶ際は、クランプやケーブルを持ったりせずに、ハンドルを持って運んでください。
- 火気の近くや可燃性の液体や、ガスのある場所では使用しないでください。
- 使用中は、使用に適した服を着用してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、周囲に引っ掛かりケガをする恐れがありますので、着用しないでください。
- 安全のため、安全手袋、安全ゴーグル、耳栓、安全帽、安全靴、作業着などの、安全保護具を着用し、使用してください。
- 高温、直射日光下では使用しないでください。また、使用中周辺温度が 40° C 以上にならないよう注意してください。
- 使用者以外、使用場所に近づけないでください。
- 使用しない場合は、子供の手の届かない場所、また施錠のできる場所に保管してください。また、子供や幼児の手の届くところでは、絶対に使用しないでください。
- 本製品は、大切に取り扱いってください。ぶつかけたり、強い衝撃が加わった場合は、必ず各部に異常がないか点検してください。
- 本体の異常に気が付いた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店まで点検、または修理の依頼をしてください。
- 本体が異常に熱くなったり、その他異常を感じた場合は、速やかに使用を中止してください。
- 車両バッテリーが過放電、または劣化した状態では、本製品を使用することができません。



重要

- ・車両のバッテリーの位置などによっては、本製品を使用できない場合があります。
- ・クランプを車両に接続する際、指や手などを挟まないよう、注意してください。
- ・使用の際、サイドブレーキを引き、ギアをパーキングにしてください。マニュアル車の場合は、ギアをニュートラルにしてください。
- ・付属の充電アダプターを、乱暴に扱ったり、引っ張って電源から抜いたりしないでください。
- ・クランプやケーブル、各部に損傷や異常がないかを点検してから使用してください。各部に損傷や異常がある場合は、使用しないでください。
- ・充電前に、充電アダプターの電源コードに、損傷や異常がないか点検してください。損傷や異常がある場合は、充電しないでください。
- ・充電アダプターの電源コードを延長しないでください。
- ・本製品は、車両バッテリーの代用品ではありません。
- ・バッテリー充電器としての機能はありません。
- ・初回使用前・使用毎には、必ず本製品が満充電状態であることを確認してください。
- ・本製品は、あくまで緊急用です。慢性的にバッテリー上がりを起こしている車両は、その原因を解決し、修理を行ってください。
- ・本製品は軽自動車～小型車向きです。
- ・内蔵バッテリーの電圧が、10.5V以下になると、バッテリー寿命が短くなり、充電しても満充電されない場合があります。

製品仕様

型 式	JTC3102J
サ イ ズ	W80×D310×H250mm
内 蔵 バ ッ テ リ ー	DC12V, 20AH×1
ブ ー ス タ ー 能 力	(12V) 1500A
自 然 放 電	3% (20℃の時)
ケ ー ブ ル 長 さ	430mm
自 重	8.2kg
付 属 品	シガーライターコード, 100V充電器, テストピンコード
適 正 使 用 温 度	0~40℃

各部名称

1.	リセットボタン
2.	シガーライターソケット
3.	テストピン差込口
4.	ライト
5.	ライト&テストスイッチ
6.	(-) クランプ
7.	(+) クランプ
8.	100V充電器
9.	シガーライターコード
10.	テストピンコード



注意

- ※エンジン発電機では、充電しないでください。
- ※延長コードを使用しないでください。
- ※付属の充電器以外、AC100V以外ので電圧で充電しないでください。本体の故障や事故の原因となり、大変危険です。
- ※絶対に完全放電状態（電源容量表示ランプが点灯していない状態）にしないでください。バッテリーが損傷を起こします。必ず未使用でも6ヶ月毎に充電してください。
- ※充電、使用中は、本機を立てておいて下さい。寝かして使用しないで下さい。
- ※AC充電では、絶対に4時間以上充電しないで下さい。本機が破損する恐れがあります。
- ※使用毎に必ず充電してください。バッテリーの寿命が著しく短くなります。電池残量テストスイッチを押してランプが3つ点灯しない状態は要充電です。（ただしブースターパック使用直後では内蔵バッテリー電圧が不安定になりますので数分経過してからチェックしてください。）
- ※本機の内蔵バッテリーを完全放電させるとバッテリーが損傷を起こし使用出来なくなります。長期間使用しない場合や表示ランプが赤色の時は定期的に充電して下さい。
- ※充電しても緑色ランプ（OK）ランプまで点灯しない場合
充電器のシガーソケットのヒューズが切れていないか確認して下さい。
長時間充電しても充電完了にならない場合は内蔵のバッテリー自体の消耗が考えられます。
長時間充電（4時間以内）を繰り返し続けると充電器が破損する恐れがあります。
そのまま充電を続けると充電器に負荷が掛かり続け、加熱し充電器を破損しますので充電器が熱くなる前にコンセントから抜いて下さい。
充電器が十分に冷めた状態で再度、接続しても症状が変わらない場合はバッテリー自体の不具合が考えられますのでバッテリーをチェックして下さい。
- ※本製品は、車両バッテリーの代用品ではありません。あくまでも緊急用です。
- ※クランプの取り付け手順を間違わないようにしてください。
- ※プラス・マイナスのクランプを接触させショートさせないでください。過電流によりクランプやケーブルの溶断、火災の原因となり、大変危険です。
- ※クランプを車両に接続する時に指や手などを挟まないように注意してください。
- ※車両への接続はプラス・マイナスを間違えないようにしてください。また火花が飛び車両の破損、怪我の危険性がありますので、別売りのJTC4137サージプロテクターを使用して車両の電装品をショートから保護してください。
- ※使用中は絶対に本製品や車両から離れないでください。

充電方法

●AC充電

- 本体バッテリー残量テストスイッチを押して残量ランプが赤色（Low）の状態の時は本体のバッテリーを充電してください。
- 付属のACアダプター100Vを使用して充電をしてください。
- ACアダプター100Vをコンセントに接続します。充電器差込口に接続します。
- 充電は必ず付属の専用充電器を使用し、4時間以上充電しないで下さい。
- 充電確認は、バッテリー残量テストスイッチを押して緑色のランプが点灯すれば、充電完了です。
- 充電完了後、ACアダプターを本機とコンセントから抜いて下さい。
- 充電完了後容量確認をする場合は、15分程度放置して下さい。
テストスイッチを押します。赤色（Low）のみ点灯している場合は再度充電を行ってから使用して下さい。

●DC充電（補助充電用方法です。満充電にする場合は必ずAC100Vで充電してください。）

- 乗用車（12V車）のエンジンを始動させて下さい。※バッテリーが24Vの車両では充電できません。
- 付属のシガーライターコードを車両のシガーライターソケットに差し込み、他端を本機のシガーライターソケットに差し込んで下さい。
- 充電完了後容量確認をする場合は、15分程度放置して下さい。
テストスイッチを押します。赤色（Low）のみ点灯している場合は再度充電を行ってから使用して下さい。
- 充電完了後、シガーライターコードをソケットから抜いて下さい。

●使用する車両の確認

※以下の項目に該当する場合は、本製品を使用できない場合があります。

- DC12V車以外。 • バッテリーが、過放電している。 • バッテリー電圧が低い場合。（10V以下）
- バッテリーが接続されていない場合。 • トラック等の普通乗用車（ディーゼル車）以上の車両。
- 慢性的にバッテリー上がりを繰り返す車両は修理を行ってください。

⚠ 注意

- ※エンジン始動のクランキング時間：5 秒以内
- ※再クランキングまでの時間：3 分以上間隔を空ける。
- ※連続クランキング：最大 3 回まで。
- ※再度使用する場合、1 時間以上間隔を空けてください。
- ※上記を守らず連続使用して負荷がかかると本体の故障の原因となりケーブル及びバッテリー等が高温となりやけど、火災の原因にもなるので連続使用はしないでください。
- ・雨の日、水の掛かる場所で使用しないでください。製品の故障の原因となります。
- ・使用前、使用後には必ず本体を充電してください。
- ・溶剤などを使用して本製品を洗浄しないでください。
- ・高温・多湿・ホコリが多い場所や振動のある場所では保管しないでください。常温で清潔な場所で保管してください。
- ・必ず子供の手の届かない場所で施錠できるところに保管してください。
- ・長時間充電しない状態で放置すると、内臓バッテリーが劣化し、充電できなくなります。

●車両への接続

- ※車両のサイドブレーキを引き、イグニッションキーを、OFF の状態にします。MT 車はギアをニュートラルにします。
- ※次の順番でクランプを接続します。本体のプラス（赤色）クランプを車両のバッテリープラス端子に接続します。バッテリー（黒色）クランプをボディーアースします。
- ※車両側のマイナス端子に接続しないでください。
- ※プラス、マイナスの接続を間違えると、ショートして車両及び本体の破損怪我の恐れが大変危険です。絶対に間違えないように注意して接続してください。
- ※クランプ、ケーブルがエンジンのファン、ベルト、プーリー等に巻き込まれないようにしてください。
- ※車両のイグニッションキーを ON にしてクランキングします。

●車両からの取り外し

- ・エンジンが始動したら速やかに次の順番でクランプを外します。バッテリー（黒色）クランプをボディーアースから外します。本体のプラス（赤色）クランプを車両のバッテリープラスから外します。クランプ及びケーブルを本体に収納します。

●DC12V 出力ソケット

- ・シガーソケットプラグを接続することにより DC12V 出力ができます。 ※出力ソケットは常時出力されています。

●車輛のバッテリー及びオルタネーターテスト

バッテリーのテスト方法

1. テストする車両のバッテリーのマイナス端子にマイナスクランプ黒色を接続します。プラスクランプ赤色は接続しません。
2. 付属のテストピンコードを本体左側の赤色のテストピン差込口に差込みます。
テストピンコードの先を車輛のバッテリーのプラス側に当てます。 本体の車のバッテリー容量のランプが点灯します。

オルタネーターのテスト方法

1. バッテリーテストから続けて車輛の充電テストをする場合、プラスクランプ赤色はをテストする車両のプラス側に接続してエンジンを始動します。

テストピンコードの先を車輛のバッテリーのプラス側に当てます。

2. 本体正面のスイッチを II 側に押すと車のバッテリー容量と車輛の充電容量のチェックランプが点灯します。

●廃棄について

- ・本製品を廃棄する場合はお住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って廃棄してください。
- ・指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

●故障について

- ・故障と思われる場合には、お手数ですがお買上げの販売店、又は販売元までお問い合わせください。
- ・修理技術者以外の方は、絶対に分解、又は修理を行わないでください。

輸入発売元

有限会社 ラグナ

〒745-0868 山口県周南市南浦山町 5-40
TEL:(0834)22-7500 FAX:(0834)22-7600